

# 学びの広場

## 松田の子ども会

(平成25年度活動報告)

松田町子ども会連絡協議会  
通称「町子連」の活動を二宮朗子前会計から伺いました。



平成26年度  
子ども会員数  
190名

町子連は昭和27年に地域の子どもの会のもと役として発足し、62年の歴史を積み重ねました。今回は昨年度に町子連が実施した事業と、町子連の今後について報告します。

### 第16回ティーボール大会

平成25年6月30日(日)町子連主催のティーボール大会を開催しました。様々な事情により大会開催が危ぶまれていたが、たくさんの方に協力をいただき、なんとかこの日を迎えることができました。

子どもの参加は150人、大人が50人。子どもの減少に伴い単位子ども会の活動休止が相次ぎ、7単位子ども会から12チームが参加しての大会となりました。



試合を終えて

ティーボールは、男の子でも女の子でも小さい子でも活躍出来るスポーツです。開会式には町長をはじめ、校長先生方にもご列席をいただき、応援の言葉をいただきました。準備体操の後、「プレイボール!」の声がかかり4つのコートで試合が始まりました。打って、走る! とって、投げる! チームの監督、観戦のお父さんお母さんからの声援が飛び交います。小さい子も大きい子も一塁まで一生懸命走ります。ポテポテの内野ゴロがなぜかセーフになったり、絶対にとれるアウトがまさかの大量得点につながったりと、大どんでん返しもあります。だから、ティーボールはおもしろいのです。結果は、寄Bチームが優勝。準優勝は寄Aチーム。三位は町屋チームでした。いつもながら、寄の子どもたちの身体能力の高さには驚かされます。心配していたお天気もなんとかもちこたえ、無事に大会を終えました。

### 寒田神社祭礼・子ども神輿

平成25年7月31日(水)は寒田神社の祭礼でした。もう何年も町子連は子ども神輿のお祓いを担当させていただいています。曇り空のもとグラウンドにお



神輿が子どもたちと一緒に入場してきます。自治会の長老の方々も神輿をびしょと纏っています。

お神輿の数は全盛期は13基揃いましたが、年々減り、今回は全部で7基・少なくなりました。全基が揃ったところに神主さんからお神輿のお祓いを受けます。子どもたちも頭を垂れて神妙な顔をしています。子ども会の会長さんは、ほんの少しだけ奉納酒を口に含みお清めをします。

そして、それぞれの自治会へ帰っていきまます。送り出しながら、とにかく事故がありませんようにと心から祈り、みんなに声をかけます。「行つてらっしゃい。気を付けてねー」グラウンドを出発して早くも「ワッショイ」と練り歩き始める声聞こえてきます。暑い一日が始まります。



はっぴ姿の子どもたち

### 新春駅伝大会

年が明け、1月19日(日)に新春駅伝大会を開催しました。前日の夜、みぞれまじりの雪が降りました。一夜明けて、気持ちのいい快晴!グラウンドは思ったよりもコンディションが良く、ほっとひと安心しました。今年度の選手のエントリーは子どもが123人で大人が42人です。1レース目は子どもたちが走ります。

1区の低学年の子どもたち18人がスタートラインに並びます。みんなやる気満々で、今にも飛び出して行つてしまいうです。カウントダウンが始まります。お父さん、お母さんもタスキをかけたわが子を見守ります。ピストルが鳴りビューンと子どもたちが飛び出して行きます。速い速い!タスキを渡すという使命感から全速力です。1区から2区へのタスキリレーはだんごになってきます。多少バタバタしましたが転倒もなく無事に全てのタスキがつながりました。2区からは少しづつづばらけてきます。2区から3区、4区、5区と全てのタスキがつながりました。

3区からは、土手沿いの長い直線とダラダラ坂を往復するアップダウンの激しいコースになります。子どもたちは限界まで力を出し切り、観客の声援をパワーに変えて走ります。6区は最終ランナー。みんなの思いと頑張りやギョツとつまつたタスキを受け取り18人が次々と飛び出していきます。チームの精鋭たちが坂を下つていきます。お父さんお母さんたちにとつてはわが子を誇らしく思える瞬間ではないでしょうか。高学年の子どもの走りは素晴らしい、みんなで繋いだタスキの責任と自分が何とかしたいという意気込みで走っていました。18人が次々とゴールします。みんな激しい呼吸をしてグラウンドに突っ伏しています。頑張ったね、本当によく頑張りました。1年生から6年生まで、全員が棄権することなく走りきつてタスキを繋げたことは本当に素晴らしいです。さて、2レース目は大人が走ります。ピストルが鳴り1区のランナーがスタートし次々とタスキが繋がります。年齢も様々、お母さんランナーも子どもたちもまじって走ります。戦隊ヒー

ローにいたつてはもはや中身が誰なのか分からず…。サルも走るし、マリオも走る。服装はくだけていますが、走りには本気なので応援の子どもたちは大喜びです。声援と爆笑の中楽しそうに走るランナーたちでした。



### 町子連の今後

町子連は、単位子ども会の活動休止(約半数)を受け、平成27年度からの活動休止を決めました。なお、活動を継続する単位子ども会もありますので、今後とも、より一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

### 大蔵院(三)

史料は乏しいのですが、戦国時代の大蔵院について述べてみたいと思います。

江戸後期の『新編相模国風土記稿』によると、文殊山安養寺と号した大蔵院は1527(大永7)年に覚俊が開いた本山修験の寺院でした。本山修験とは京都の聖護院を本



大蔵院の五輪塔群

さらに、氏綱の側近くにいた玉瀧坊は、使者として出羽伊達氏や越後上杉氏のもとへも赴いています。諸国を行脚する山伏は地理に詳しく、この部下として同じような役割を担ったかも知れません。また、玉瀧坊は北条氏の祈禱所でもありました。松田山には松田新次郎康隆の松田城がありました。すると、同山中にあった大蔵院も松田城主のために祈禱を行っていたのかもしれない。

### 松田の文化財探訪

《指定文化財とその周辺10》  
町文化財保護委員 鈴木 一行

寺とした天台宗系の修験道のこと、当院は小田原玉瀧坊の配下になりました。そして、もとは松田山の山中にあり、安養寺屋敷という地名も残っていました。

大蔵院が創建された頃、この地域を支配していたのは戦国大名の北条氏綱でした。氏綱は父宗瑞(早雲)の